

平成 24 年度「文化科学研究科連携事業」についてのアンケート調査

Q1. ご所属の専攻（修了生は在学中の専攻）

地域文化 / 比較文化 / 国際日本 / 日本歴史 / メディア / 日本文学 / その他

Q2. 現在のお立場

学生（修了生を含む） / 研究科教員 / 専攻長以上の役職経験者

Q3. RT 事業（Research Training 事業 平成 24 年度実施）についてお聞きします

1-a. 応募の有無

応募した / 応募しなかった

1-b. 応募された方にお聞きします

1-b-1. 応募回数

1 回 / 2 回 / 3 回以上

1-b-2. 国内外の別（複数回答可）

国内 1 回 / 国内 2 回 / 国内 3 回以上 /

海外 1 回 / 海外 2 回 / 海外 3 回以上

1-b-3. 応募の内容（複数回答可）

調査活動 / 成果発表

1-c. 応募されなかった方にお聞きします

1-c-1. 応募しなかった理由（複数回答可）

研究上必要ない / 他の経費（葉山本部・専攻内など）を用いた /
手続きが煩雑である / その他

1-d. RT 事業の必要度

かなり高い / やや高い / ふつう / やや低い / かなり低い /
わからない

1-e. RT 事業について、今後への要望など自由にご記入ください

自由記述（ ）

Q4. 学術交流フォーラム（平成 24 年度）についてお聞きします

1-a. 参加の有無

参加した / 参加しなかった

1-b. 参加予定（あるいは参加した）の方にお聞きします。

1-b-1. どのような立場で参加されましたか（複数回答可）

口頭発表者 / ポスター発表者 / 講演者 / 委員・スタッフ / その他（聴講）

1-b-2. 専攻を超えて、教員・学生が一体となった学術交流を一層進めるため、今年度は学生企画委員が中心となってワークショップを企画いたしました。この試みについてはいかがでしたか。改善点を含めて御意見・御感想をお聞かせ下さい

自由記述（ ）

- 1-c. 参加されなかった方にお聞きします（複数回答可）
時間的に余裕がない / 2 (1.5) 日は長すぎる / 内容に魅力が乏しい / 雰囲気が親しみにくい / その他
- 1-d. 学術交流フォーラムの必要度
かなり高い / やや高い / ふつう / やや低い / かなり低い / わからない
- 1-e. 学術交流フォーラムについて、今後への要望など自由にご記入ください
自由記述（ ）

Q5. 『総研大 文化科学研究』(年刊) についてお聞きします

- 1-a. 活用度・認知度
よく読む / 時々読む / 目次は見る / ほとんど読まない / 全く読まない / 知らない
- 1-b. 収録論文などの水準
かなり高い / 比較的高い / ふつう / 比較的低い / かなり低い / わからない
- 1-c. 投稿・採択
- 1-c-1. これまで本誌に投稿されたことがありますか
ある / ない
- 1-c-2. 「ある」と答えた方にお聞きします。投稿回数（採択・不採択を問わない。投稿中を含む）
1回 / 2回 / 3回以上
- 1-c-3. 「ない」と答えた方に、その理由をお聞きします（複数回答可）
投稿の機会がなかった / より相応しい媒体が他にある / 掲載手続きが煩雑である / その他
- 1-d. 『総研大文化科学研究』の必要度
かなり高い / やや高い / ふつう / やや低い / かなり低い / わからない
- 1-e. 『総研大文化科学研究』について、今後への要望など自由にご記入ください
自由記述（ ）

- Q6. 事業全般について、今後の必要性・方向性など、ご意見を自由にお書きください。**
自由記述（ ）

ご協力いただき有難うございました。